殿賢家藩翰譜

一

和書門
類 二八二六五號
函 八六
架 五五
冊 二

内閣文庫
和書
類 二八二六五號
冊 二
函 一五五
架 一一

内閣文庫
番號 和 28265
冊數 2 (1)
函號 155 68

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

醫家藩籍譜卷之壹

宮内省圖書寮文庫

月俸

高千五百石
高四百十石
高千二百石
高千石
高千九百石
高二百俵
高千石
高千五百石
高五百石

宮内省圖書寮文庫

明治十五年購求

米井大和守成義
半井卜養
今大源中務之輔隆庸
曲直瀬玄治 仍壽
曲直瀬養安院流宗
曲直瀬 正英
所司源敬卿流宗之歌
三雲敬菴院宗顯
坂上地院宗孝

国立公文書館
National Archives of Japan

高二百俵
高二百俵
高月俸二十口
高二百俵
高七百石
高二百俵
高六百三十石
高二百石
高三百俵
高五百石
高二百俵

坂　真庵　家之
坂　玄道　法眼
坂　玄節
多紀　安長
船橋　宗廸　玄昌
秦　壽令院
曽谷　伯安
曽谷　玄梁　法壽
曽谷　一之
野間　三折　法眼
野間　玄瑞　法眼　職式

高二百俵　按人扶持
合二拾三人

源　長伯

内閣文庫

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]

大神宮[illegible]合[illegible]国[illegible]牧[illegible]井[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

大神宮[illegible]
[illegible]
大[illegible]
[illegible]
小[illegible]
把[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

大[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

院の遺跡とする由典第五の記載なり貞享元年
十月に[illegible]法皇仙洞御所を四海波殿と号す
堀章大[illegible]号[illegible]の間通称堀章と呼び中
[illegible]の遺跡を[illegible]と称し文典第五に
常嘉門の別称なり
文典云
有章云
有仲云我の清代迄[illegible]実際元年[illegible]
[illegible]堀章[illegible]迄[illegible]年十月[illegible]
[illegible]法皇を通仙院[illegible]堀章と号する堀章
長男[illegible]義二男[illegible]輝[illegible]

[illegible]堀章[illegible]
[illegible]法皇[illegible]典第五に
[illegible]宮殿[illegible]八年[illegible]
[illegible]年の秋八月[illegible]仙洞宮
堀宮[illegible]宮殿八年[illegible]
十二月[illegible]日典第五に[illegible]大[illegible]任[illegible]
同九年[illegible]十一月[illegible]文堀宮の遺跡の[illegible]
憶伝云
清明云の西[illegible]
十一月[illegible]日清[illegible]天明元年
天明元年十月[illegible]
同年[illegible]十八日典第五に[illegible]

當流代々住ハより文政三年ーの春二月病ニ罹り(?)ふさるゝ
萬慶四年の生まれにて迄(?)歸をうけたるを(?)
米井ト呼ぶ名前も同居して代々ト称し替しト呼ぶ
と呼し今のト呼は其の萬葉(?)派本居(?)坊(?)家次男ニて
初めハト云ふを呼し天明八申年六月晦日ニ呼ぶト号す
寛和二年壬戌四月十二日(?)文下泉(?)瑞(?)之ニ遊(?)歸(?)同
後ち十ト云ふを年まる(?)尾張(?)ニ神田橋本町二丁目なり

高子泉二百衣

　　　　　　　　與書家政(?)
　　　　　　　　今大路中務大輔藤原親庸(?)

今大路家ハ宇多源氏にして佐々木源氏藤原朝臣の末裔(?)七世
馬淵左近將監源廣周の二男(?)婿(?)となり(?)朝臣(?)の家(?)を繼(?)ぎ九門
親具(?)より今大路(?)の學(?)術(?)源(?)道三の門(?)に入(?)りて山(?)…ニ小
同(?)じく採(?)集(?)書(?)經(?)ニ歸(?)して東山(?)院丁卯の九月(?)…
山(?)城の國ニ於(?)て山(?)…生まれ(?)…年九日(?)又(?)…
云(?)…二年(?)同(?)…又(?)…(?)特(?)…伯(?)…婦(?)
との書(?)…を得(?)て長(?)…(?)…婚(?)…
曲(?)直(?)瀬(?)…を稱し足利の學校ニ往(?)…(?)…
め…志し又山人(?)…道大明…

渉ること甚しく入りて医業の蘊奥を極め名声世に洽く
室町家に召れ義輝公の病症を療し功を得るに依て
しく今般有る者なき事を萬機嫌に濟されしとて
翠竹院の號を賜ふ又東福寺の某も天文の末の秋
備りしに永禄九丙寅年の頃毛利元就病
中に召され其病を癒し是よりして名を顕し
しなりと中にも多くの事以て施薬の業を開き
猶又元就の為に切紙を書き大いに其功を賞せられ
天正二年甲戌の十一月十七日
内裏に召されて特に　天覧を蒙りて麻を
輯し啓迪集八巻を　叡覧に備ふ

時に請ひて天龍寺の僧策彦和尚の命せらる
上表し宗に古の綱紀を勅し正親町天皇の御代弘仁
二年中初め延喜年中の法式備り治乱を記し
加へて歴代の年中遊びに廃絶せり然るに今度
正親町院より暦種の法式の秘授の　勅許を蒙り是
よりして毎年暦の様を教へ是を誠にし給ふ
天正三年乙亥十月十四日織田信長公其宅に来り
臨ひ給ふ時に蘭奢待を備へて之を賞し給ふ
俗の時にて是を萬世に伝ふるにより慶
東照宮とも親しく在り　鍾命を蒙り賜りて慶長十二年
康未道三の名を襲ひ玄朔に字を与ふ是

勅書を賜りて後京極の文学家業を路通院と号して
一人まで實枝に授事は曲亜卿の家学ハ一人當院
三條して猶子を継し文禄四年乙未卯月晦日
秋八月九日卒して歳七十五になる法號は
を称名院一渓道也と号せり
後陽成院より三條西家をつかはされて
三條西編集の書籍を所持し皆一人に授けける
三條家の書を庭田中納言殿より見る
三條西の奥書を見たる奥書又は是を一筆に三條
翁より守奥は一女子に授けて三條
を継ぎて子なきにより三條家の跡の子を〆給

陽成天皇の勅命を大御所へ申されて三條家の
系図を伝へる家業を三条西家の為に
寛永四年の家を継ぎ四年余りを経て大内
年内より昇殿
其後を深く尊信あり
十二月中院中納言親王文三條 其中に出る間十二月
の家を三條家に譲る 勅使を以て道に
政道の某年中に尊崇を修して其日三條家を
十四丙戌年法印に叙せられ十七丁丑年正月六日
六の宮式部卿親王の御事年三條家を継ぐ
御年三十四年余にして豊臣殿下大小感じ察

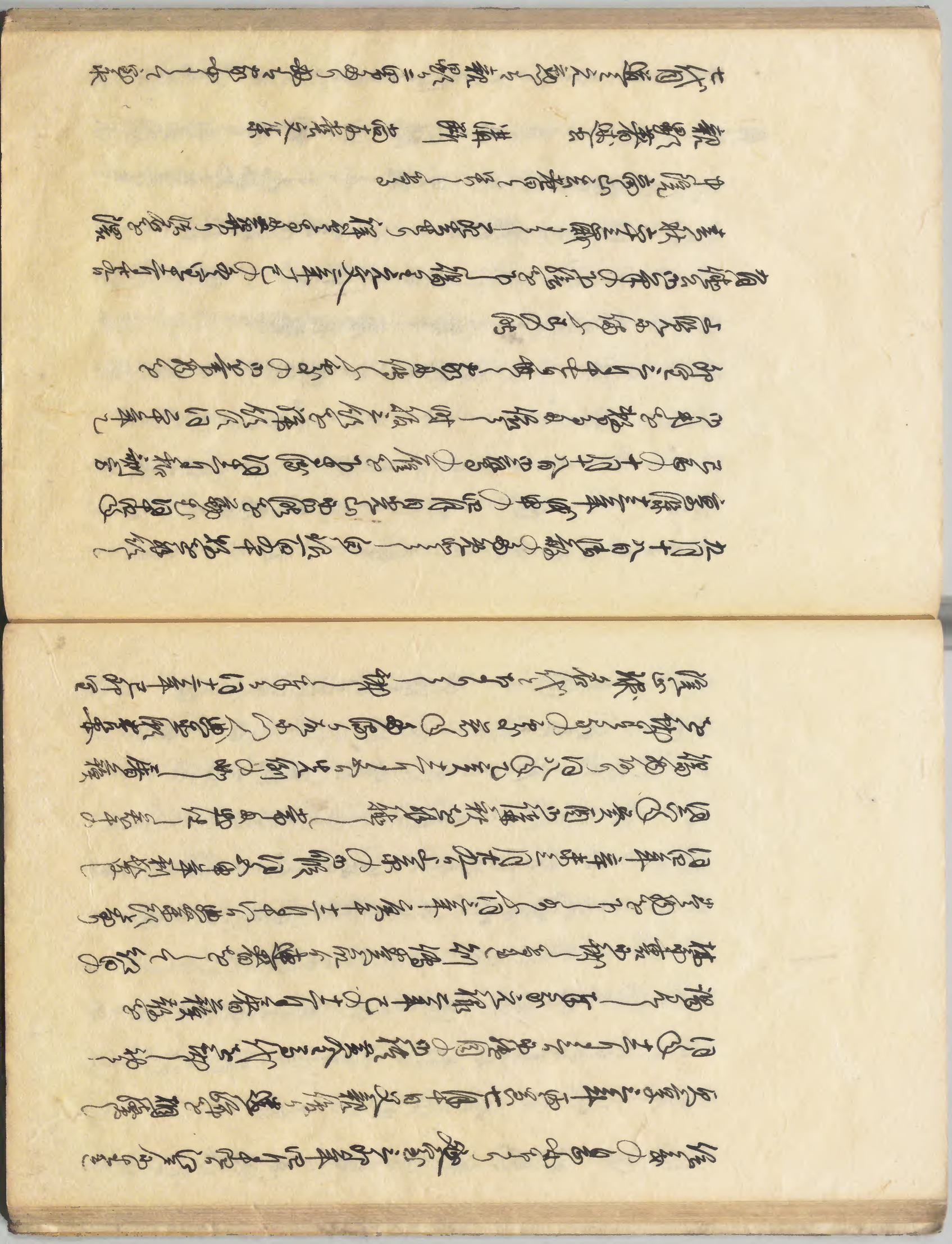
清馬を猶子として跡をつかしむ　岡田重綱か女
重綱は出雲の時正紀常陸の守に仕へ　慶長
之役年　淺野織部正に仕へ　元和の頃より
ともに仕へ　思召をもって紀州の家に
仕へ奉り　同年御手懸(?)の儀ありて之
のち金の御紋入の御召を給はりて当時現在
己亥の十二月神田に居を構へ白殿を
台徳院殿に御目見え　嫡子として之通り
無⃝御例ともに同七年壬戌七月二十三日加増　長右衛門
根来(?)金御行相市正連名の書をもって　山城
の守になされ　家継　寛永　元和三年丁巳の八月廿八日

台徳公より御行首をのせ　清来寺をもって寛永
永禄年戊辰正月二歳より清浄の所に紫衣勅
殿御用足として御羅髪の番として江戸城
事により始め出仕六年別御役に奉行を遂之後
當時祥雲寺足にて旧八年壬未の十二月
十日壽秋八拾六歳にして遠離を増上寺
祥雲寺にて浅瀬を寛永院東照宮に
當館
元戊月御役後出家　親族とし後
道元禅師の跡を継ぎ出家　年　を
江戸

台徳公の御前に出て中小姓を勤め時某の御鷹を預り
し嘗御同十二年壬辰の春二月清ゟ更出仕番組ニ入
新安う氏き羅解　　龍顔を拝し東海道時に
構姓を考其名十三年申年上総國にて関東の國へ移し程
七百石を御加恩有し外に五百石を賜ふ後に割替
しく道三元禮と改む同十九年甲寅の冬大坂の
役に御供を勤む元和九年癸亥年
東福門院の女御入内の時御供奉を勤めし當座に叙爵
ことなし御無庭あり給ひ
台徳公御在職なりし時此なりしに御見付役に翻を編ふ
寛永三年寅年

台徳公御上洛の御供紙粉を継ぎに従ふに拾し
尊家康君の御側近く御奉公し黒田の御伽に
其日暮らし早速すゝしく向の御ゆるし正月に元禄
若様より御療治断るを辞し又六月十日家督
迎ふに至りけり
同年東武に遣さるゝ時桐の間に出る者を法度
延寿院亀渓元禮と号す
御代目親昌ハ初名藤之丞民部大輔後に道三と称す
元和八年壬戌の冬
大猷公の中小姓にしてよりて出る九月元服寛永元年従五位下に叙し
其業を継ぎてその十申子年より京の御膳の世の鹿毛の

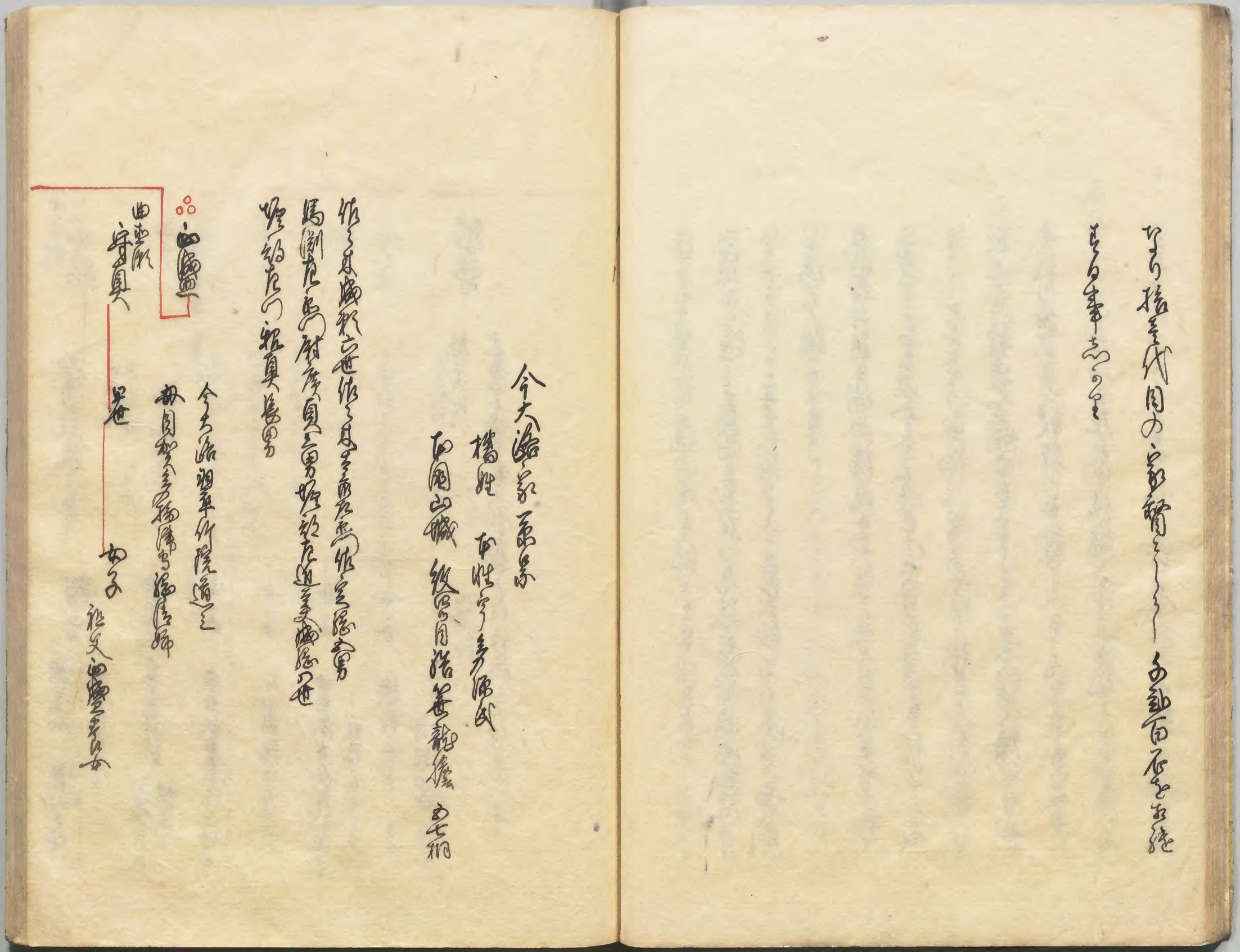
思召されけるにや涙し　卑敬　龍渓を得し
其りるに滞しく江戸より帰京し　寛永二年乙丑
也上京の後又御法を勤む同八年未年又親清
遷跡を継百石月俸七百石余せらし　千五百石をうけ
同十六年己卯四月廿三日世寿六十二歳にして示寂せり
祥せらるゝ由慈母より法衣を受　遠境に安置せらるゝ
其し与る代同寺被吉備　親信の子　親昌自らうけて
母也あるし　凡国綱如備前に比ありさ　当家を多力
之職を継し　寛永十七年庚辰ノ年七十歳の時
大奥に召され　初めて独見し　其より公附表向
御招せり　同十二申年二月上京　相國寺に於て勤
其し急便なるし　四條之御年江戸より下向し　其長
旧ノ三年卯年十二月十五日　從五位下に叙し　典薬頭
任する同年五月より　上京の　四條之眼医として
於て時様之節を下向二月十五日　上京せし　十二月の　寄り
龍渓を嫡として　其家督を継し　萬治二年
申年より又上京　明暦二年　丙午の　十月より下向せり
寛文三年ノ癸卯の四月日光山の御法会　御勤仕の　同七年
丁未十二月十五日　判物を賜り　道之に付　左兵衛尉　元禄二年　丙
寅の　同十二月　表状を捧　それより　上京　祥せらる
由慈母より　法衣を受　遠境に於て　定め　其後
六代目道之　親類八　新信の二男の　母に　浄雅左衛門

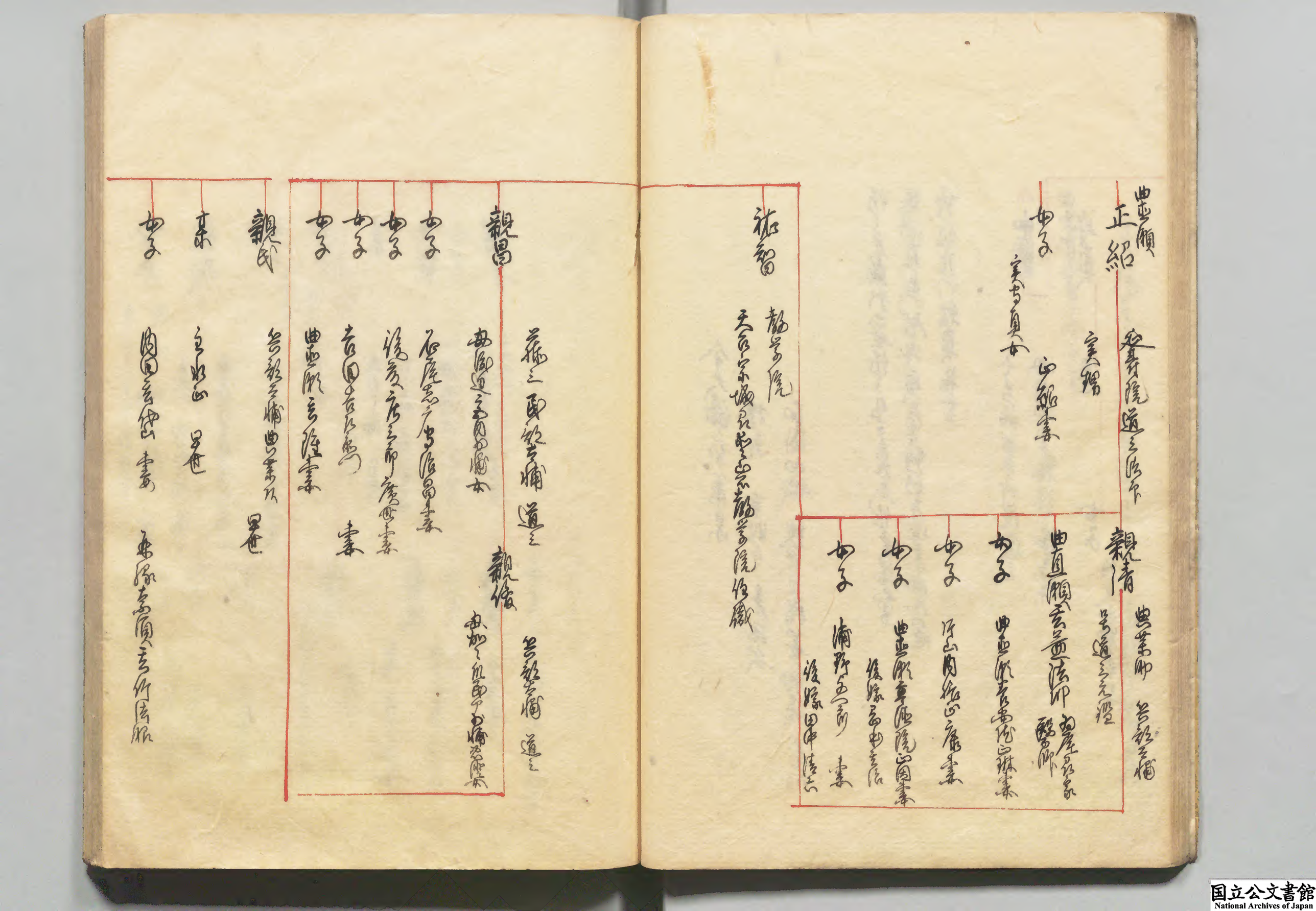


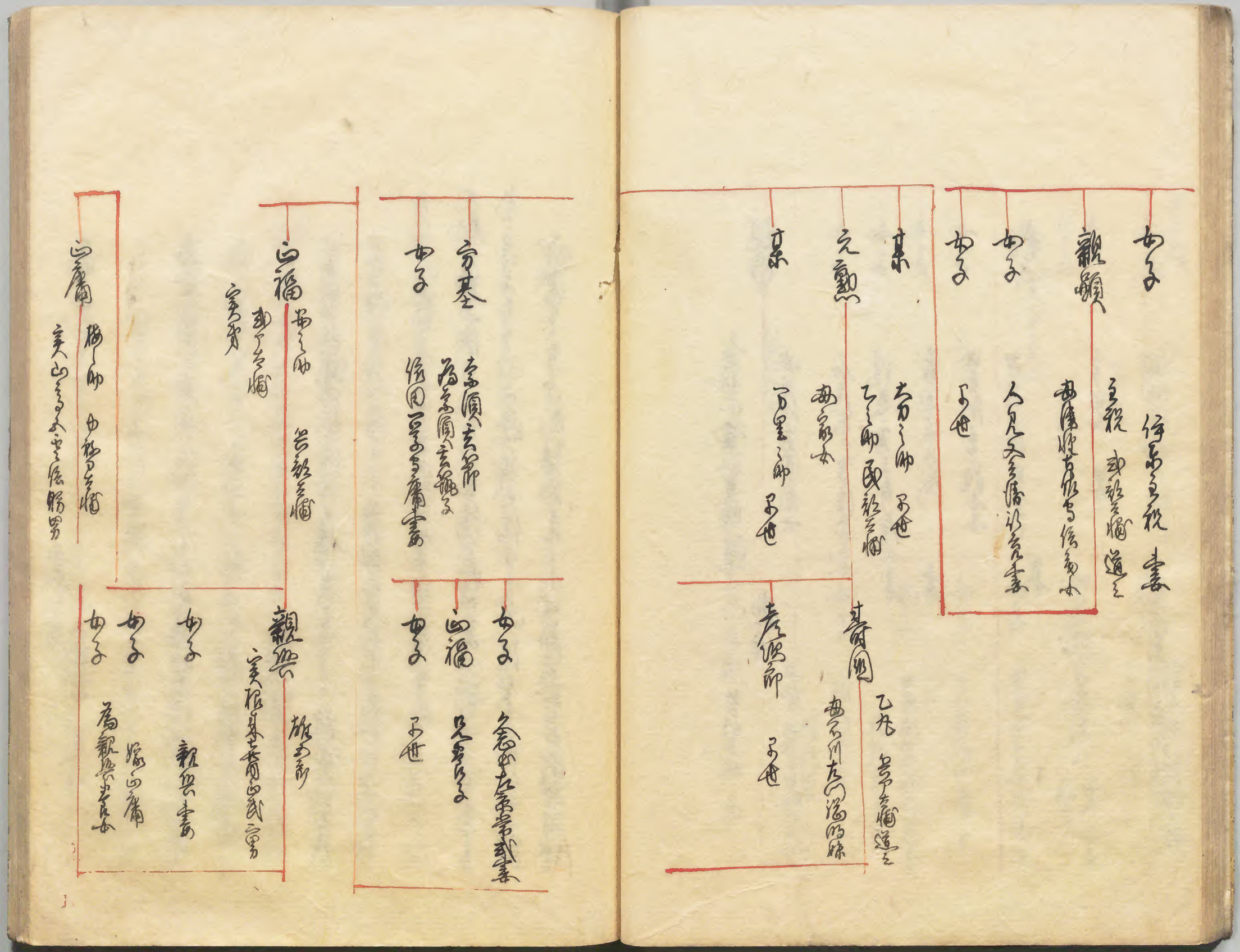
国立公文書館
National Archives of Japan

七年庚寅十一月廿九日に生る享保九年甲辰八月廿二日初て
有徳公に謁見し奉り当分組頭代を勤めけり同十二年丁未
十二月廿八日書院番に加はり先格を以て同組に被召出
出精に依て同十五年庚戌六月廿六日上意の御服同年十月廿三日
御番組頭代を勤めしかは又御時服を賜り連日出精にして
同十八年癸丑十二月廿二日神田にて唐の樹数本を
植付に任せられしは西城御目見より連綿の功をもて
御書院番のうち元文二年丁巳十二月廿四日又親類連綿の続し
同三年戊午三月廿八日組頭代を勤むる事
判物等ならし遺して相続す宝暦九年己卯正月
十四日六十七歳にて卒去し祥雲寺に葬る

法名を羽華院西園恵観と号す
八代目ハ道之甚五郎幼名元九郎後右衛門明和四年丁
亥七月十二日年六十八歳にて卒去剃髪今井安之助
山福を相続せしなり
九代目岩次郎右衛門山福後に式部右衛門実は元親か
三男なり寛政五年癸丑の七月廿七日に卒去行年六十二歳
よって嫡孫なり山福男子なし根来吉内成か次男
雄次郎親要を婿養子として遺跡を譲りたり
十代目雄次郎親要家督相続し右相勤
岩次郎を山福三左衛門後養子に山福を
相続せしむ家督を継しむ是今の中務大輔山福







高千穂

寄合医師
岩本玄浩

高祖父岩本玄□[illegible]大和国[illegible]道[illegible]
[illegible]
経歴之[illegible]
[illegible]道悦[illegible]
寿[illegible]月日[illegible]
[illegible]寛永年[illegible]
大猷院様[illegible]
[illegible]
[illegible]年[illegible]

御[illegible]例[illegible]
[illegible]
[illegible]月[illegible]道悦[illegible]
[illegible]正保二年[illegible]月[illegible]
[illegible]法[illegible]
[illegible]
大猷院様[illegible]
[illegible]十[illegible]正保二年[illegible]秋七月[illegible]
[illegible]道悦[illegible]月[illegible]
[illegible]年[illegible]月[illegible]
[illegible]

なるべし宝永元年甲申の七月光明山西往寺の四世を継ぎ
其後路通院と号し法眼に叙せらる延宝三年乙卯生
六月十六日歿す寿七十にして隠居せり後の貞享元年
甲子九月廿二日西雲祥雲寺に葬り法名を継ぐ
渓雲樹と号し当寺の雲樹より子を寿仙は正徳二年
乙酉の七月廿三日又雲樹家督を継ぎ年作
三百俵ニ月俸三年を賜り医師となりし延宝三年
乙卯九月十六日又雲樹ら家督を継ぎ知行五百石を賜り
養徳し後に法眼に叙せられ紀有年となる
に任ぜし元禄六年癸酉の十二月十二日に隠居し四十
四年辛巳正月九日卒す祥雲寺に葬り法名を

紫渓寿仙と号し其子寿伯は元禄六年癸酉
十二月廿六日家督を継ぎ知行五百石を給り寄合となる
甲戌の六月十四日家督の御礼をとぐ　後に寺坂采女と称し
御附となる同十三年庚辰十一月廿八日奥医師に列せられ法眼に叙し
又法印にすゝみ路通院と称す　後寄合の医師
となり延宝三年丙寅の十二月十六日務めを辞し勤仕せず
重ね救ひて隠居し家督を寿伯に譲り寛延二年
己巳十月十日に卒す祥雲寺先塋の側に葬る法名を菊渓
寿仙と号す　寿伯家督を継ぎ知行五百石を
得し後路通院と称せし　母稲葉
くし宝暦二年壬申の十二月廿二日卒す法名を渓寿仙と号し

岡本家系圖

- 岡本玄治 啓迪院
  - 玄治 啓迪院 玄琳 啓迪院法眼
    - 壽仙 啓迪院法眼
      - 玄治 啓迪院法印 玄治 始壽仙啓迪院
      - 某 早世
      - 女子 早世
      - 女子 早世
    - 某 早世
    - 女子 早世
  - 玄琳
    - 女子 實柘木和泉守長綱女

高千九百石

曲直瀬養安院法印

ともふ人出家し寺に住ける由曲亭所にて山林寺
寺を取建曲亭所を其後寺と号し　但し当寺者中
東照宮より拝領し寺社又江戸に出府し
白銀三十枚被下候其上御遺跡を被下候ら本寺より被下七
年に至り其の後三月廿四日に死去遂に御遺跡を御本山佛殿山天真寺より
葬り法経を一宿其後に至り候て其上御寺院　山號を
寛文七丁未年七月廿日父被召出御宛行遺跡を被下其上寺領御朱印
御朱印被下
常憲院殿の御時御代御遺跡に被召出其上寺法服を被下　右者元禄
三年癸酉十二月十九日山王権現の三百石ら被下候年始御目見
其上被下候又御勤行寺院にて被下元禄九年

正月廿五日御祈祷三百石同十三年庚辰正月十六日御祈祷
三百石同十七年甲申正月十五日御祈祷三百石又三百石被下三百石
其上寺領御法衣被下候寛永六年巳
の正月
常憲院殿御代同年二月十五日一同御先代寺領御遺跡を被下又
元禄の頃寺領を勤む寛保六年巳十二月十五日寺領被下
ニ而御寺領を被下其上寺法服被下候其上寺院を被下
御寺院を被下同の年甲申七月廿五日御法服被下寺領
年々其上寺院寛文庚申の天真寺に其後法経法服
其上寺領を被下候寺領八月二日三年一両寺領
元禄の年の秋七月廿五日被下

常憲院様御代[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

高千石

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

高野山

寄合所

[illegible]

[illegible]

[illegible]

地院の和尚[illegible]
[illegible]年[illegible]
[illegible]年[illegible]
[illegible]
[illegible]

高野百度

坂上真宗家

[illegible]

大[illegible]の四時百度[illegible]年[illegible]

百度を[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]年[illegible]百度[illegible]

[illegible]

[illegible]年百度[illegible]

[illegible]

[illegible]年百度[illegible]年[illegible]

[illegible]

[illegible]年百度[illegible]

七日日[illegible]

[illegible]

十日の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

元禄十三年　辰六月七日　四郎兵衛殿へ遣ス

[illegible]

寄りの日記年　辛巳十月朔日

御書ふ[illegible]

憲廟御治世　なりぬ宝永七年　辰壬の　秋九月十日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

高三百俵

[illegible]

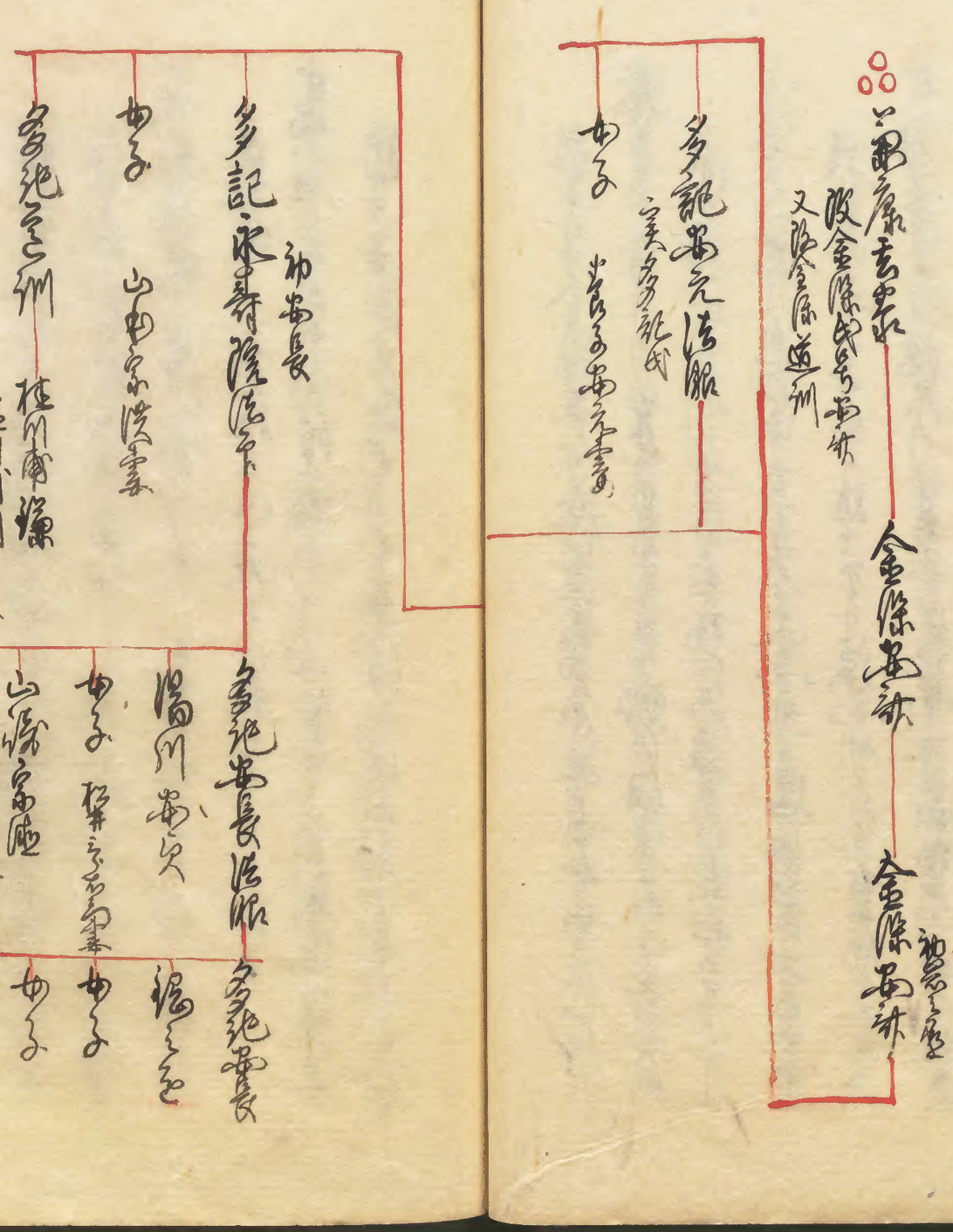
[illegible]

[illegible]

[illegible]

常のごとくにて候へ共、[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
十八年[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

多記



[illegible]

船橋宗通系図

船橋宗通[illegible]天武天皇の孫[illegible]
或説に[illegible]清原の朝臣[illegible]船橋長房[illegible]
[illegible]三年丁酉[illegible]初[illegible]
[illegible]清原[illegible]
[illegible]第[illegible]
[illegible]秋[illegible]船橋長
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]清原[illegible]
[illegible]清原[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秀賢　式ヲ大浦

元埋

船橋長菴

元皓　船橋長菴

法眼

船橋崇迪法眼玄瑜

母戸田先半左ヱ門重永女

妻室賀下総守正信女

船橋宗迪玄侃　始好菴　長菴

妻山川安左ヱ門忠義女

女子

女子　川井七十郎妻

某早世

船橋真菴玄道　早世

船橋新三郎　早世

船橋茶軒

女子　藤本二十郎

女子

大久保文右ヱ門忠敬

為大久保新蔵忌郷婿養子

宗迪玄昌

宗恒

女子

女子

女子　和田春長正室妻

杉浦岩之亟

高二百石

秦 壽令流

[illegible]

常憲[illegible]

[illegible]

[illegible]

高二百三拾石

曽谷伯耆

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

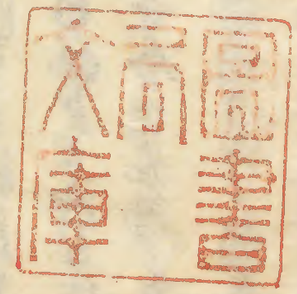
[illegible]

[illegible]

常憲院殿御代御[illegible]
[illegible]年作之[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]年甲辰の八月十六日初て
[illegible]有之候間[illegible]
[illegible]長崎奉行[illegible]
[illegible]朝鮮[illegible]侍[illegible]
[illegible]
又法[illegible]新[illegible]通[illegible]
軍の[illegible]
十六年[illegible]
[illegible]
寺[illegible]
[illegible]

[illegible]侍[illegible]
法[illegible]新[illegible]
[illegible]
隨[illegible]
法[illegible]
[illegible]
[illegible]十[illegible]
[illegible]
[illegible]十[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]



国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan